



国産木材を使用した小物・アロマ製品

国産無垢材を使用したおもちゃ・小物・アクセサリ、国産の木材の枝葉より成分を抽出した純国産アロマオイルなどのアロマ製品の製造。小物製品・アロマ製品ともこれまで廃材とされていた寄木、不適格材や枝葉の有効活用にもなっている。また、売り上げにも大きく貢献しており、家具製品に追いつく勢いである。

業況等の動向について

本業の動向について

国産無垢材のオーダーメイド家具工房として昭和 50 年創業。伝統の木工技術にこだわり、家具製造から建築へと事業を拡大。

当社が製造する耐久性の高い木製家具は買い替え需要も余りなく、売上面は徐々に減少。リーマンショックによる落ち込みの影響が大きい。建築業への不況の影響は意外に少ない。

異業種参入事業の概要

国産無垢材を使用した積み木などのおもちゃ(無塗装・丁寧な面取りで安全面に配慮)、漆器・お椀・カッティングボードなどの食器やテーブルウェア、クラフト・インテリア小物、木のアクセサリなどの製造。国産の木材の枝葉より抽出した天然成分 100%のアロマオイル・アロマ製品の製造。

不況にも関わらずアロマを含む小物の売上高は全体に大きく貢献、家具製品に追いつく勢いであり、売上高は 360,000 千円、売上高構成比約 40.0%を占める。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

国産無垢材を使用した家具について言えば耐久性が高く長持ちなので消耗品とはならず、売上のことも考え、回転の速さと手軽さという観点から小物の製造を始めた。積み木や小物などの製品には寄木や不適格材を使用し廃材を減らすなどの効果もある。また、アロマも国産のヒノキやクロモジなどに芳香成分を豊富に含むことを知り、今まで廃棄していた枝葉の有効活用になると考え研究・開発を行い商品化となった。

マーケティングについて

木製のおもちゃの 95%が海外からの輸入物で国産材使用のおもちゃが質と価格の面で対抗できれば十分シェアを広げ得る。またアロマのほうは 97%が海外産でアンケートをとると国産の方が圧倒的に評価が高く好まれているのでこれもどんどんシェアが伸びると思われる。

参入に際しての投資について

小物の製造の為に第 2 工場の建設を行ない、NCルーターの導入などで約 1 億円。またアロマの方も研究開発費と抽出機の導入でこれも約 1 億円を投資した。

参入して最も成果のあがったこと

小物の商品アイテムも増えており多方面とのコラボレート企画による商品も多数あること。アロマセラピーが認知症や筋

肉痛に有効なことがわかりつつあり、介護やスポーツの業界に一石を投じた形となった。

今後の展望・見通し

日本の森林面積率は世界第 2 位であり、50 歳～60 歳の木は大量に余っており、これらでおもちゃのみならず木の小物を造れば資源の供給は問題ないし、アロマの原材料などは余っている。今後、食器や文具のデザインを新しくすれば販路はますます広げることが出来る。またアロマの方もアロマを使ったバス・トイレタリーや化粧品を開発しつつあるのでこれも今後大幅に伸びる可能性がある。

メリット・デメリット

メリットは、時代の変化で落ち込んだ部門を補うことができること。共同開発・コラボレート企画などの申し込みが増えたこと。社会貢献度が増したこと。

デメリットは、新しいことをするので分からない事が多く、利益を上げるまで時間がかかること。社内・社外にコンセプトや魅力などが認知されにくいこと。

異業種参入時のアドバイス

時代の変化は早いので一歩先ではなく更に先を見据えた計画や参入をする。強い意志が必要。誰もがやりたがっていること、流行のことは競争率が高くなるだけなのでやらないこと。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

- ・経済産業省「地域資源活用型研究委託事業」
- ・農林水産省「農商工連携パーク事業」

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

申請から採択までの時間がかかり過ぎる。運用の仕方などで制限が多過ぎるので、使い道の拡大・使いやすさを重視し、制限の緩和をして欲しい。判断基準を一律で行うのではなく、将来性のあるもの、成果の出ているものなど、見極めをしっかりと行ってほしい。

会社概要

設立：1979 年 5 月 29 日（1974 年 4 月創業）
 資本金：47,400 千円
 従業員数：70 名
 URL：http://www.oakv.co.jp